

市民との対話事業 **市長とふれあいトーク**

実施日時	平成24年8月30日（木）（19:00～20:05）		
実施場所	太平集落センター	参加人数	19人
参加対象	松代中部地区振興会		
市側の出席者	市長 福祉課主任、松代支所農林建設課主査		
懇談内容	<p>【懇談要旨】</p> <p>1. 発言者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落内には、「ブナ林」「遊歩道」「棚田」があり、集落入口に案内看板を設置した。ブナ林の中には広場があり、夏は涼しいのでコンサートができればよいと考えている。 ・アートはないが、多くの人から菅刈に来てもらいたい。 <p>A. 関口市長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今度、菅刈集落にアート作品を入れたらよいと思う。 ・城山の「トンボ」みたいにアート作品を目印にすることによって、人が集まってくる。 <p>2. 発言者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・案山子隊として城山を案内している。城山の中にはたくさん作品があるが、良い作品ほど早く壊れる。 <p>A. 関口市長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城山は宝の山である。日本の中でも相当有名な場所になった。豪雪等で作品の被害も多いが、改修して多くの人から鑑賞してもらいたい。 <p>3. 発言者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の活性化を図るうえで、空き家の活用は重要である。しかし、個人で空き家を管理し続けるのは厳しいし、集落で管理するのも難しい。都会の人から「空家がないか？」という問い合わせもある。家を壊すのはもったいない。何とか家を残す方法があればよいのだが…。 <p>A. 関口市長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その考え方はすばらしい。どこかがサポートする方法を検討したい。 ・空き家も、カールベクス氏のように少し手を加えることで新たな価値を生む。 		

4. 発言者

- ・様々な事情から家を壊せない人もいる。その家の後始末が大変だと思う。

A. 関口市長

- ・空き家問題としては、むしろこちらの方が大変である。今、十日町市の今後の方向性を明確にしようということで、「十日町流まちづくり条例」を作ろうとしている。その中のひとつに、空き家問題を検討すべきという項目もある。このことを意識したまちづくりをしていこうとしているのでしっかりとやっていく必要がある。

5. 発言者

- ・平成25年度から除雪制度が変わると聞いている。十日町市の雪対策が後退することがないように是非お願いしたい。

A. 関口市長

- ・合併時、除雪のやり方の統一については決めきれなかった。今年ようやく方向性が出た。市道は、当然市が管理し市が除雪費用を負担する。松代地域では住民負担がなかったが、旧十日町は住民負担があった。旧十日町は、除雪費用の負担も含め協働というやり方をしていた。これは、除雪にかかる費用を抑えるという効果もあった。良いシステムだったという評価もあったので、無料化との調整を図るのが大変だった。除雪に対して協働で取り組むということをお願いしたい。「市もがんばる、市民もがんばる」という体制ができればよい。

6. 発言者

- ・今、若い人たちが市外から芸術祭に来ている。こういう人たちを冬に呼んで雪掘りの集団を作れたら良いと思う。市内だけの協働でなく、市外を含めた協働ができればよい。

A. 関口市長

- ・池谷集落は地震で大きな被害を受けた。NPOが来て集落が復活した。外の人をどれだけ引っ張ってこられるか…知恵の出どころだと思う。